

## 環境技術実証事業 有機性排水処理技術分野 実証試験要領の改定内容等について

平成 28 年度環境技術実証事業に向けて、実証対象技術の公募や採用、実証試験計画や報告書作成の方法について見直しを検討し、年度当初から事業が円滑に進むようにするために平成 27 年度末に改定した内容である。

## ＜平成 27 年度末の改定概要＞

- ・環境技術実証事業運営委員会で示された方針と整合を取るための見直し
- ・環境技術実証事業実施要領の改定（予定も含む）に合わせた見直し

## ○改定箇所（赤字部分）

本編箇所	現行版（平成 27 年 4 月）	改定案（平成 28 年 4 月）
P23	VI. 実証試験結果報告書の作成 2. 表紙及びヘッダ 報告書の表紙には、実証番号及び ETV 共通ロゴマーク…  <b>【中略】</b>  ヘッダの全ページも ETV 共通ロゴマーク、分野名…  <b>【略】</b>	VI. 実証試験結果報告書の作成 2. 表紙及びヘッダ 報告書の表紙には、実証番号及び ETV <b>個別</b> ロゴマーク…  <b>【中略】</b>  ヘッダの全ページ <b>には、</b> ETV 共通ロゴマーク、分野名…  <b>【略】</b>

資料編 P ii	○ 国負担体制：中小水力発電技術分野 ○ 手数料徴収体制：地球温暖化対策技術分野（照明用エネルギー低減技術（反射板、拡散板等））、自然地域トイレし尿処理技術分野、有機性排水処理技術分野、閉鎖性海域における水環境改善技術分野、湖沼等水質浄化技術分野、ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）、ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）	○ 国負担体制：テーマ自由枠分野 ○ 手数料徴収体制：中小水力発電技術分野、地球温暖化対策技術分野（照明用エネルギー低減技術）、自然地域トイレし尿処理技術分野、有機性排水処理技術分野、閉鎖性海域における水環境改善技術分野、湖沼等水質浄化技術分野、ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）、ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）
-------------	---	--

< 今年度の改定について >

今年度の改定は環境技術実証事業の全体の方針をふまえ、実証機関と連携し改定する。

1. ISO-ETV (ISO 14034) の要求事項と実証試験要領の整合を図る

- ・ ISO14034 の要求事項で使われる用語との統一の必要性
- ・ ISO14034 の要求事項に対する実証試験要領の記述内容の変更の必要性 (ISO14034 の要求事項の解釈)

※ ISO14034 には契約関係の記述はない。実証計画と試験計画、その結果の記述（報告書の形態）を ISO にあわせる必要があるかなどの懸案がある。

2. テーマ自由枠分野とのすみ分け

- ・ 有機性排水技術分野で取り扱う範囲を、より明確にすべきか検討する。

※ 畜産排水、リン回収技術、処理システムの制御に関する技術などは、実証試験要領に対応できないケースも考えられ、申請希望の技術に応じて関係部局と調整を図り、個別に対応する。